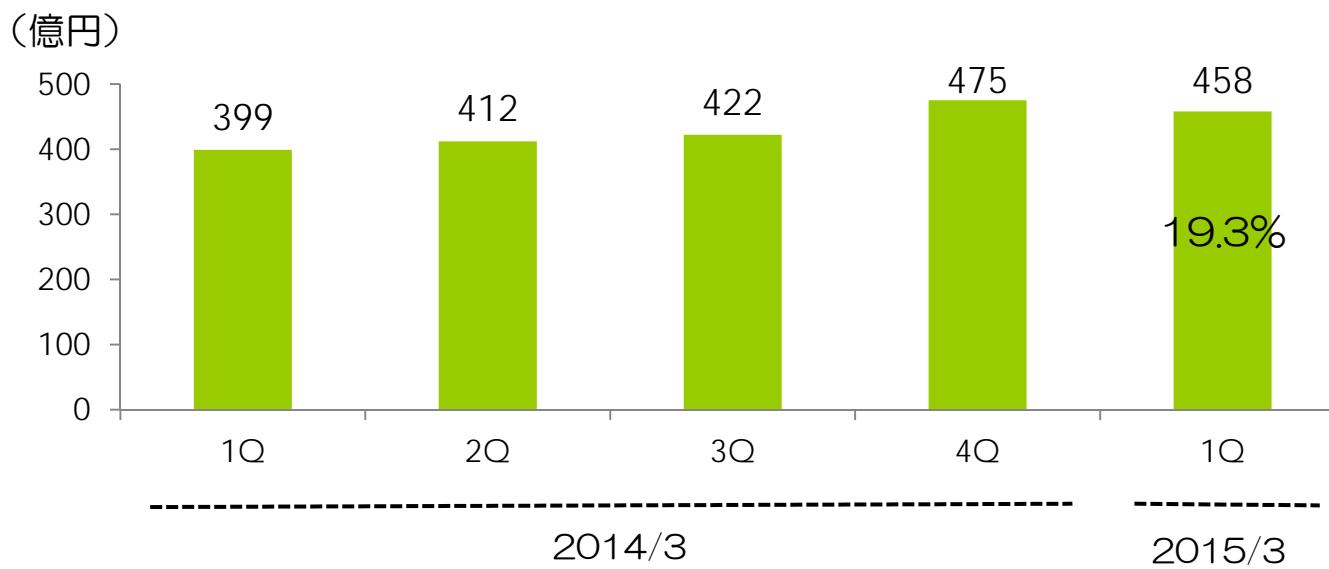


2015年3月期
第1四半期連結業績概要

執行役員
桃塚 高和

- ◆ 営業利益は前年同期から倍増。
- ◆ 受動部品の収益大幅改善。 営業利益は磁気応用製品を超えて四半期ベースでは過去最高。 自動車及び中国スマート市場向け販売が好調に推移。
- ◆ 自動車向け売上は、全社売上の19.3%（前年同期比15%増）。

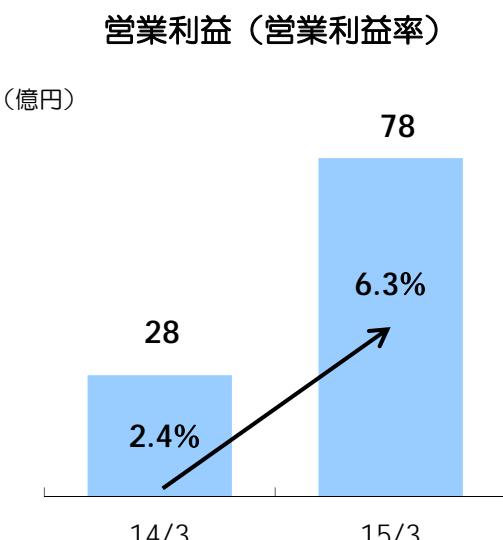
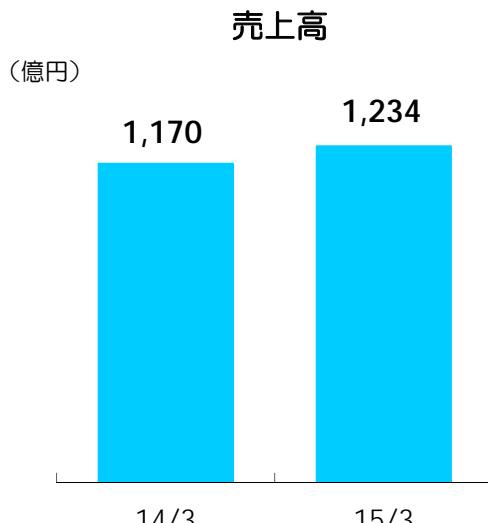


2015年3月期 第1四半期連結業績概要



(億円)	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,344	2,375	31	1.3
営業利益	45	96	51	113.3
営業利益率	1.9%	4.0%	+2.1pt	-
継続事業税引前利益	52	104	52	100.0
継続事業純利益	15	63	48	320.0
非継続事業純利益	△ 4	-	-	-
非支配持分利益	7	5	△ 2	-28.6
当期純利益	4	58	54	-
1株当たり利益	2円96銭	45円73銭	-	-
為替	対ドルレート	98円74銭	102円17銭	3.5%の円安
	対ユーロレート	128円96銭	140円17銭	8.7%の円安
為替変動による 影響金額		売上高：約58億円の増収 営業利益：約10億円の増益		

(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。



売上高 1,234億円（前年同期比5.5%増）
 営業利益 78億円（前年同期比2.8倍）

●セラミックコンデンサ

- ・全体売上の約半分を占める自動車市場を中心に前年同期より増加
- ・新製品の売上増や生産性改善効果により利益率も改善

●インダクティブデバイス

- ・全体売上の約4割を占める自動車市場向け売上が前年同期より増加
- ・品種構成の良化により利益拡大

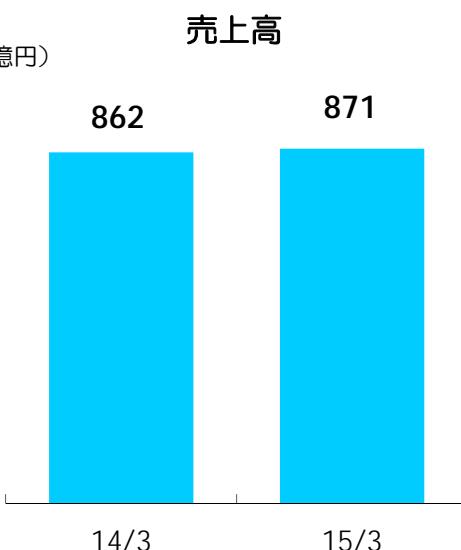
●高周波部品

- ・競争力のあるディスクリート製品の販売堅調（SAW、温度補正ESAW、BAW、積層フィルター）
- ・事業全体の損益も前年同期より改善

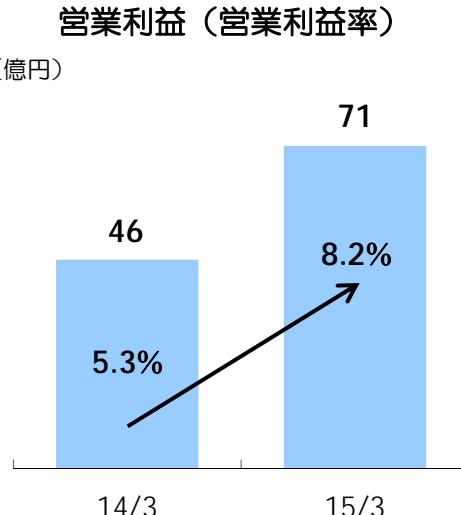
●圧電材料部品

- ・カメラモジュール用VCMや自動車向け部品の販売を中心に前年同期比増収増益

(億円)



(億円)



売上高 871億円（前年同期比1.0%増）
営業利益 71億円（前年同期比54.3%増）

●記録デバイス（HDDヘッド）

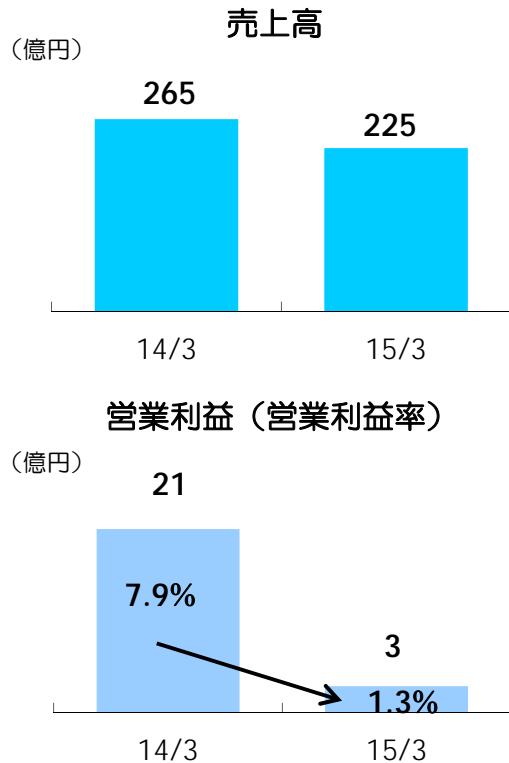
- 出荷数量は前年同期より減少も、生産性改善効果や品種構成の良化により前年同期より増益

●マグネット

- 前年同期発生したフェライトマグネットの拠点集約費用がなくなったこと及び設備稼働率の向上により前年同期より赤字が大幅に縮小。
(第4四半期からも収益改善)

●電源

- 半導体製造装置、FA機器、計測機器等の産業機器市場向け売上は、前年同期比で約2割増加。
- 黒字転換。



売上高 225億円（前年同期比15.1%減）
 営業利益 3億円（前年同期比85.7%減）

● エナジーデバイス（二次電池）

- 主要顧客向け新機種販売前の生産調整により
前年同期比減収減益。

セグメント別四半期実績

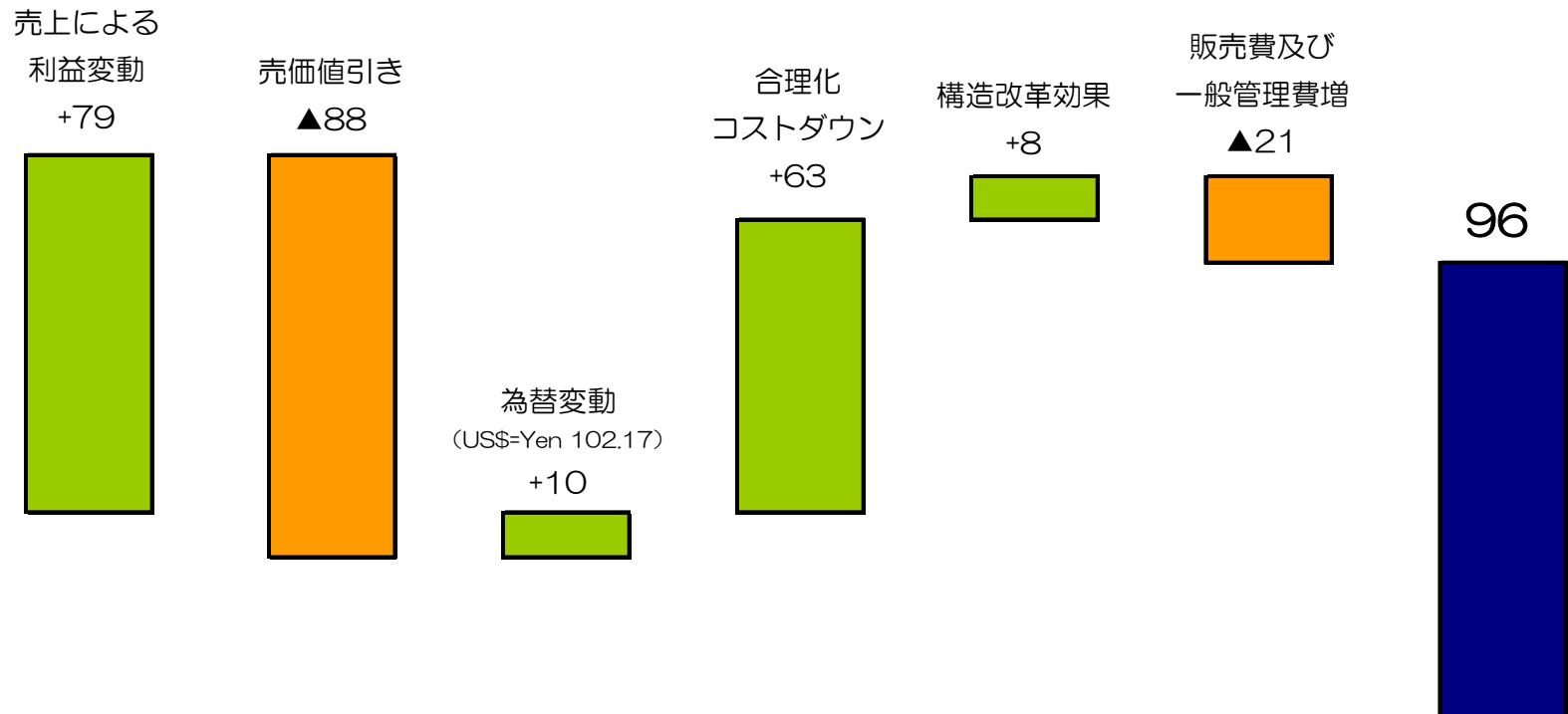
(億円)		2014年3月期 第1四半期 (A)	2014年3月期 第4四半期 (B)	2015年3月期 第1四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	337	361	365	28	8.3	4	1.1
	インダクティブデバイス	350	349	367	17	4.9	18	5.2
	その他受動部品	483	471	502	19	3.9	31	6.6
	受動部品合計	1,170	1,181	1,234	64	5.5	53	4.5
	記録デバイス	602	612	591	△ 11	△ 1.8	△ 21	△ 3.4
	その他磁気応用製品	260	283	280	20	7.7	△ 3	△ 1.1
	磁気応用製品合計	862	895	871	9	1.0	△ 24	△ 2.7
	フィルム応用製品合計	265	291	225	△ 40	△ 15.1	△ 66	△ 22.7
	その他	47	58	45	△ 2	△ 4.3	△ 13	△ 22.4
	合計	2,344	2,425	2,375	31	1.3	△ 50	△ 2.1
営業利益	受動部品	28	3	78	50	178.6	75	-
	磁気応用製品	46	54	71	25	54.3	17	31.5
	フィルム応用製品	21	11	3	△ 18	△ 85.7	△ 8	△ 72.7
	その他	△ 8	△ 8	△ 4	4	-	4	-
	小計	87	61	148	61	70.1	87	142.6
	全社および消去	△ 42	△ 45	△ 52	△ 10	-	△ 7	-
	合計	45	17	96	51	113.3	79	464.7
	営業利益率	1.9%	0.7%	4.0%	+2.1pt	-	+3.3pt	-
為替	対ドルレート(円)	98.74	102.97	102.17				
	対ユーロレート(円)	128.96	141.12	140.17				

2014年3月期
第1四半期
45億円

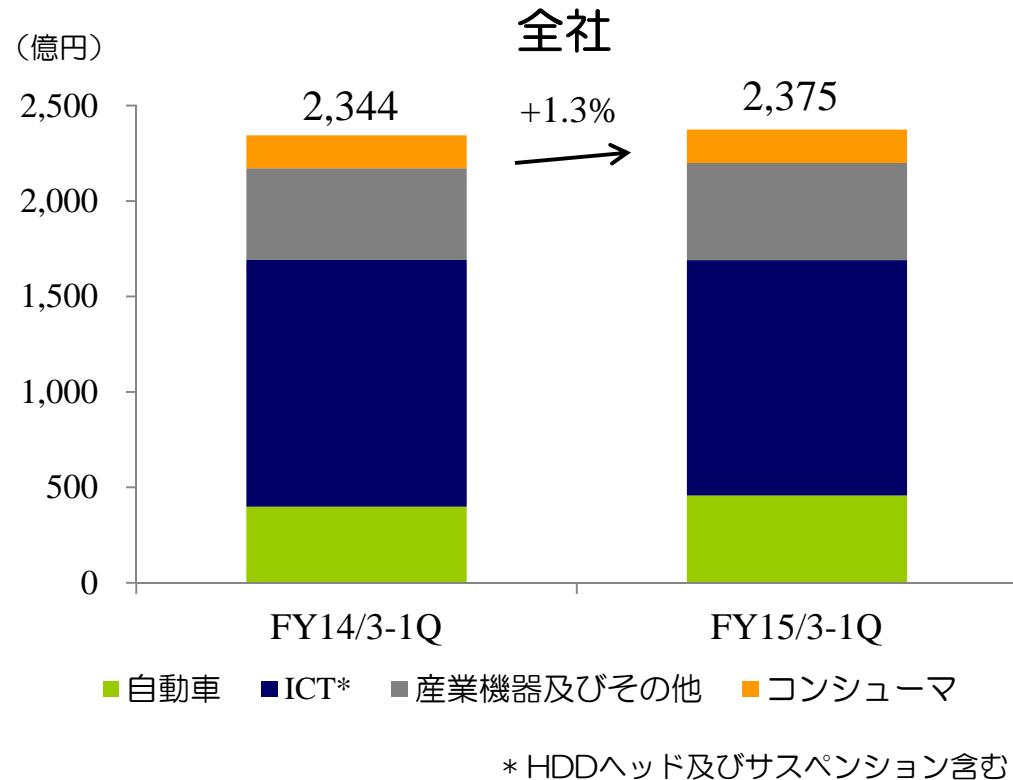
営業利益 +51億円

2015年3月期
第1四半期
96億円

(単位：億円)



重点分野別の売上



自動車：

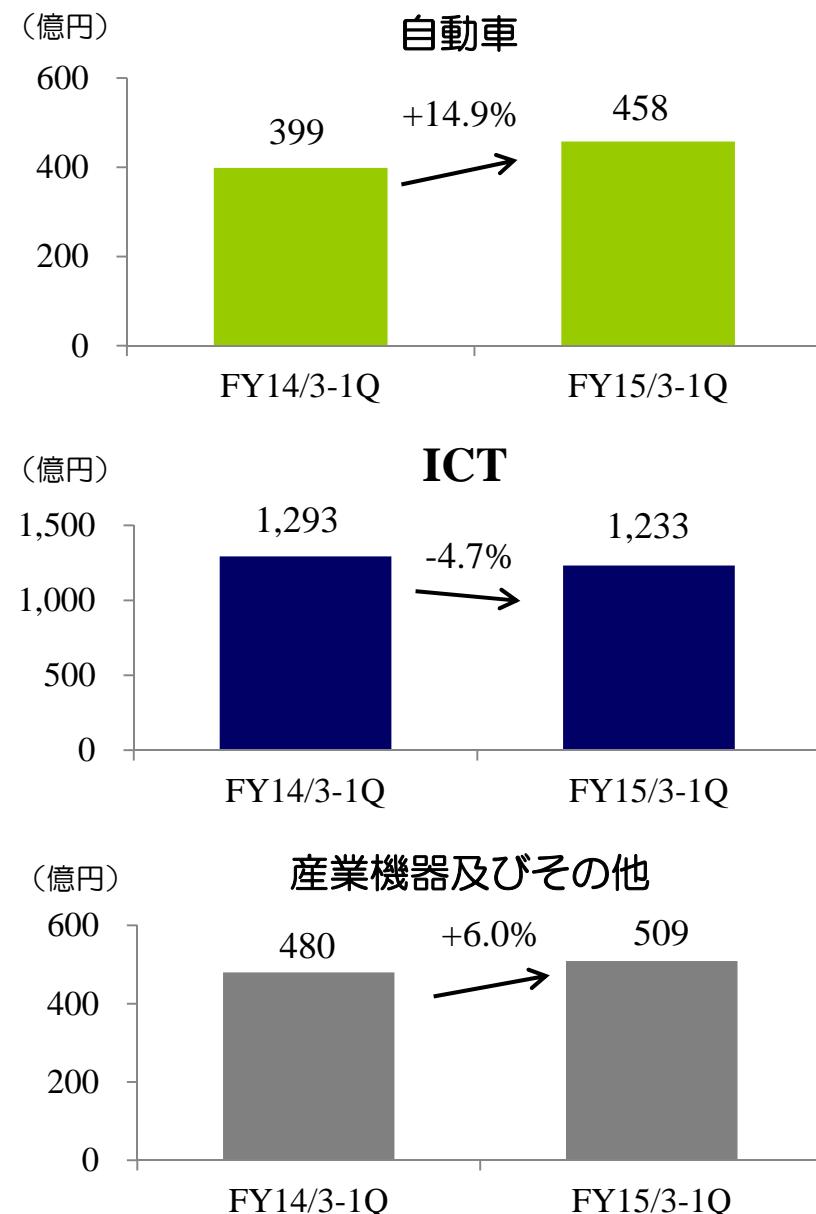
受動部品の売上拡大

ICT (情報通信技術) :

通信機器（スマホ）向け二次電池減少

産業機器及びその他：

産業機器向け電源、受動部品販売好調



セグメント区分	2015年3月期 1Q実績	2015年3月期 2Q予想 (対1Q)	主な要因・予想の前提
受動部品	1,234	+7%～+8%	ICT市場向け（特に通信機器市場）及び自動車市場向け各種製品の販売拡大
磁気応用製品	871	±0%	HDD市場の成熟化
フィルム応用製品	225	+40%+ α	ICT市場向け二次電池の販売増（主要顧客の新機種立ち上げに伴う販売増）
その他	45		
合計	2,375	+7%～+9%	

為替前提

為替レート \$/Yen

102.17

100.00

為替レート EURO/Yen

140.17

135.00

2015年3月期 連結業績予想及び配当金見通し

期初公表値（4月28日）から変更なし

(億円)	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 業績予想	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	9,845	10,500	655	6.7%
営業利益	366	570	204	55.7%
営業利益率	3.7%	5.4%	+1.7pt	-
継続事業税引前利益	398	560	162	40.7%
当期純利益	163	340	177	108.6%
1株当たり利益(円)	129.47	270.23	-	-
配当金(円)	上期：30円（実績） 下期：40円（見通し） 年間：70円（見通し）	上期：40円 下期：40円 年間：80円	-	-
為替	対ドルレート	100円26銭	100円	-
	対ユーロレート	134円42銭	135円	-

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または默示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与える上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2015/1q_1.htm